

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の設置場所を変更しようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
2. 直ちにその旨を総務大臣に報告する。
3. あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
4. 直ちにその旨を総務大臣に届け出る。

〔2〕 再免許を受けた陸上移動局の免許の有効期間は何年か。次のうちから選べ。

1. 5年
2. 4年
3. 3年
4. 10年

〔3〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調であって周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表す記号はどれか。次のうちから選べ。

1. A3E
2. F3E
3. F8E
4. F7E

〔4〕 無線従事者がその免許証の再交付を受けることができる場合に該当しないのはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線従事者免許証を汚したとき。
2. 無線従事者免許証を失ったとき。
3. 住所に変更を生じたとき。
4. 氏名に変更を生じたとき。

〔5〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 発見した免許証を速やかに廃棄する。
2. 発見した日から10日以内にその旨を届け出る。
3. 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を返納する。
4. 発見した日から10日以内に発見した免許証を返納する。

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の1,606.5kHzから4,000kHzまでの周波数の電波を使用する無線設備（多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

1. 5ワット
2. 10ワット
3. 50ワット
4. 100ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、陸上移動業務の無線電話通信における応答事項を掲げたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- | | |
|------------|----------------------|
| ① 相手局の呼出名称 | 3回以下 |
| ② こちらは | 1回 |
| ③ 自局の呼出名称 | <input type="text"/> |

1. 3回以下
2. 3回
3. 1回
4. 2回以下

〔8〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速い通信速度で行わなければならない。
2. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
3. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔9〕 無線局の免許人が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときに総務大臣が行うことがある処分はどれか。次のうちから選べ。

1. 再免許を拒否する。
2. 6箇月以内の期間を定めて使用する電波の型式を制限する。
3. 3箇月以内の期間を定めて通信の相手方又は通信事項を制限する。
4. 3箇月以内の期間を定めて無線局の運用の停止を命じる。

〔10〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 免許状又は登録状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
2. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
3. 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
4. 運用の停止の命令を受けている無線局を運用していると認めるとき。

〔11〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 無線局のある事務所の見やすい箇所
2. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 通信室内の見やすい箇所

〔12〕 無線局の免許人は、免許状に記載した住所を変更したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 総務大臣に無線設備の設置場所の変更を申請する。
2. 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
3. 免許状を訂正し、その旨を総務大臣に報告する。
4. 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。